

# 情報連絡員総括表（2024年6月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI 値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI 値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値  $\pm 0.0$ (=横ばい)で推移  
※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 (回答者数 60 名 : 回収率 100.0%)

○2024年6月のDI 値は、前月との比較において、「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の6指標が悪化。その他3指標が改善した。在庫数量は製造業・非製造業問わず改善傾向が見られるが、「取引条件」「収益状況」「資金繰り」の3指標は、業界問わず悪化しているなど厳しい状況に置かれている。製造業における業界の景況は6.7ポイントの回復しているものの、非製造業においては16.7ポイント悪化しており、業界全体では-4.9ポイントの悪化を記録している。また2024年に入り、業界の景況におけるDI 値は全てマイナスを記録しており、景況の回復は実感できない状況にある。

○「製造業」では、前月との比較において「在庫数量」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の4指標が改善され、その他4指標が悪化した。水産食料品業界においては、原料不足による製品相場の上昇により売上金額が増加しているものの、原料相場も同様に上昇していることから状況を注視していく必要がある。パン業界においても、原材料価格は高騰傾向にあるが、顧客の嗜好に合わせた商品開発を進めることで、状況の打開を図ろうと取り組んでいる。

○「非製造業」では、前月との比較において「在庫数量」における指標が改善し、1指標が横ばい状態、その他5指標が悪化した。宿泊業は、主にアジア圏からのインバウンド需要により、売り上げが微増しているが、経費負担増により収益状況は前年並みか若干下回る見込みである。関連する道路旅客運送業では、令和元年度と比べ70~80%の売上に留まっており、インバウンド需要の恩恵はあまり受けていないようである。6月から始まった定額減税による消費活動の活発化に期待する声も上がっている。

(DI 値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年6月	-20.0	-18.2	25.0	-13.4	-38.3	-21.6	-33.3	-5.0	-26.6
2024年5月	-5.0	0.0	30.0	-3.4	-21.6	-11.7	-33.4	-10.0	-21.7
増減	-15.0 ↓	-18.2 ↑	-5.0 ↓	-10.0 ↓	-16.7 ↓	-9.9 ↓	0.1 ↑	5.0 ↑	-4.9 ↓

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体					
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減			
売上高	2024年6月	-30.0	0.0 ポイント	-	-10.0	-30.0 ポイント	↘	-20.0	-15.0 ポイント	↘	-30.0	-5.0	↘		
	2024年5月	-30.0			20.0			-5.0							
在庫数量	2024年6月	-16.7	-23.3 ポイント	↗	-21.5	-7.2 ポイント	↗	-18.2	-18.2 ポイント	↗	6.6	0.0	↗		
	2024年5月	6.6			-14.3			0.0							
販売価格	2024年6月	20.0	-10.0 ポイント	↘	30.0	0.0 ポイント	-	25.0	-5.0 ポイント	↘	30.0	30.0	↘		
	2024年5月	30.0			30.0			30.0							
取引条件	2024年6月	-16.7	-6.7 ポイント	↘	-10.0	-13.3 ポイント	↘	-13.4	-10.0 ポイント	↘	-10.0	-3.4	↘		
	2024年5月	-10.0			3.3			-3.4							
収益状況	2024年6月	-43.3	-10.0 ポイント	↘	-33.4	-23.4 ポイント	↘	-38.3	-16.7 ポイント	↘	2024年5月	-33.3	-21.6	↘	
	2024年5月	-33.3			-10.0			-21.6							
資金繰り	2024年6月	-23.4	-10.0 ポイント	↘	-20.0	-10.0 ポイント	↘	-21.6	-9.9 ポイント	↘	2024年5月	-13.4	-11.7	↘	
	2024年5月	-13.4			-10.0			-11.7							
設備操業度	2024年6月	-33.3	0.1 ポイント	↗	/				-33.3	0.1 ポイント	↗	2024年5月	-33.4	-33.4	↗
	2024年5月	-33.4							-33.4						
雇用人員	2024年6月	-6.7	10.0 ポイント	↗	-3.3	0.0 ポイント	-	-5.0	5.0 ポイント	↗	2024年5月	-16.7	-10.0	↗	
	2024年5月	-16.7			-3.3			-10.0							
業界の景況	2024年6月	-26.7	6.7 ポイント	↗	-26.7	-16.7 ポイント	↘	-26.6	-4.9 ポイント	↘	2024年5月	-33.4	-21.7	↘	
	2024年5月	-33.4			-10.0			-21.7							

## 今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
	繊維工業	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1
	木材・木製品	0	3	0	1	0	1	0	2	0	3	0	1	0	2	0	2	0	3
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	窯業・土石製品	0	2	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0
	鉄鋼・金属工業	0	3	0	2	0	1	1	1	0	3	0	1	0	3	1	0	0	1
	一般機器	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	輸送用機器	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	2	1	1	0	1	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	0	2	0	1	2	0	0	1	0	2	0	1	/		0	0	0	2
	小売業	1	3	0	2	2	2	0	1	0	4	0	3			0	1	0	3
	商店街	1	3	1	1	2	0	0	1	0	2	0	1			0	1	0	2
	サービス業	3	0	/		2	0	1	0	1	0	0	0			1	0	1	0
	建設業	1	2			2	1	0	1	0	3	0	1			0	1	0	2
	運輸業	2	1	/		2	0	0	0	0	0	0	0			0	1	0	0

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	・原料不足による製品相場の上昇が追い風になり売上金額は増加している。ただし原料相場も同様に上昇しており楽観は出来ない状況が続いている。電気・ガスなどインフラコストが政府補助のおかげで高値とはいえ一定の水準に抑制されている状況も収益が伸びた要因である。
パン	・パンのジャンルには総菜パン(やきそばパン、カレーパン、サンドイッチなど)菓子パン(クリームパン、あんパン、メロンパンなど)食事系パン(食パン、ロールパンなど)があるが顧客の嗜好は日々変化しており、定番商品の他商品開発を行っている。夏の暑い時期は売り上げも減少するので原材料高騰の中でも価格調整は必要となってくる。
織物業	・新規受注は継続して入ってきている。機屋(織機台数)の減少で生産数量も限られる中で生産の平準化を図っており、織工賃が少しずつ上がってきている。
製材業、木製品製造業	・木材市況の低調感から原木の伐採量が思わしくなく、原材料不足から製材所の稼働が一段下がった模様。
金属製品	・円安の影響による材料価格・エネルギー価格の高騰のため、収益が悪化。コスト増を取引価格に転嫁できず。
生産用機械器具	・全体的に良くない。新規事業にも転換できず、作業効率を上げなければ淘汰されてしまう。
電気機械器具	・白物家電の5月の業界統計では、国内出荷金額は2か月連続のプラス。冷蔵庫は3ヶ月連続のマイナスだが、全国的な暑さや猛暑予想によりルームエアコンは2か月連続のプラスだった。 ・6月の生産は冷蔵庫は販売低迷によりマイナス、家庭用エアコンは好調だった昨年比ではマイナスとなった。例年の生産のピーク時での生産減は組合員の経営には少なからず影響している。
輸送用機械器	・弊組合においては、主要顧客であるスズキの生産は前年度比プラス。また、労務費値上げ分の価格反映も徐々に浸透しつつあり、組合員企業の生産量・売り上げは総じてプラス。 ・諸物価高騰、人件費上昇、社会保険料負担増、中小零細製造業は存続の危機を迎えている恐れがある。価格転嫁が出来るか否か、今後推移をしばらく見守りつつ、組合の使命としては対応を考えなくてはならない。 ・自動車業界全体に於いて不正発覚に伴い、生産停止の情報が出ている。対象車種の取扱があるサプライヤーに於いては収益悪化となっている。本組合に於いては、一部の車種が6月の2日間稼働停止したが影響は少なかった。

#### 非製造業

セメント卸売業	・6月の出荷は公共関連需要の低迷と天候の影響を受け、2か月連続の大幅減少となった。
鮮魚小売業	・売上高は増加したが、収益面が改善されるまでは至っていない厳しい状況が続いている。
野菜・果実小売業	・物により価格の高い物安い物があるが全体としては大きな価格変動はなかった。
各種商品小売業	・6月末のセールが対前年比で二桁UPした。定額減税効果による影響か否かは不明だが、6月は全業種前年をクリアした。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比108.4%と増加した。6月中旬まで開催していた近隣のイベントが好影響となった。イベント終了後の予約状況は弱い。 ・インバウンドが好調で、特にアジア圏からの予約が戻りつつある状況。全体的に宿泊単価の上昇で売り上げは若干伸びているが、各種エネルギーの高騰や食材料費等の値上がりによる経費負担増で、収益は前年並みか若干下回る状況。
総合工事業	・先月と変わらずに建築工事の新築の動きが見られず。このままでは新築住宅を主にしている地元工務店の倒産・廃業が増加しそうである。 ・今年に入ってから、業界の仕事量・受注価格が悪くなる一方である。安定した仕事量が出て来なければ益々悪くなると思われる。
電気工事業	・引き続き、資材価格の高止まりが話題になっている。
職別工事業	・物価上昇もあり工事契約が進まず、着工が遅れ気味。秋口からの繁忙期に期待している。価格は据え置き、上昇基調も見られる。
道路貨物運送業	・6月の原油市場はOPECプラスが2025年末まで減産を継続すると表明したが、一部の産油国が2024年10月以降、段階的に独自の減産を縮小する方針を示した。それにより需給の緩和が意識され市場では売りが広がり、日本の輸入原油価格の指標であるドバイ原油は、5月の平均84.00 $\text{ドル}/\text{バレル}$ から6月平均82.55 $\text{ドル}/\text{バレル}$ と、1.45 $\text{ドル}/\text{バレル}$ 下落した。一方、国内では燃料油に対する補助金について、「年内に限り継続する。その際、国際的な脱炭素の流れなどを踏まえつつ、状況を見定めたうえで段階的かつ円滑な終了に向けて必要な対応を行う」と政府が発表した事で、市況価格の急激な上昇を回避することができた。5月の平均27.27 $\text{円}/\text{リットル}$ から6月平均24.36 $\text{円}/\text{リットル}$ と、依然として補助金に依存する状況が続いており、政府には補助金の終了に向けて冷静な対応を求めたい。
道路旅客運送業	・令和元年度との運送収入比は昨年度の77.6%から83.9%と6.3ポイント上昇した。対前年同月比では僅かながら回復傾向が続いているものの、コロナ前の令和元年との比較では70%台から80%台を行ったり来たりしている状況。梅雨により人の動きが落ちないよう、旅客需要喚起に向けた行催事に期待したい。

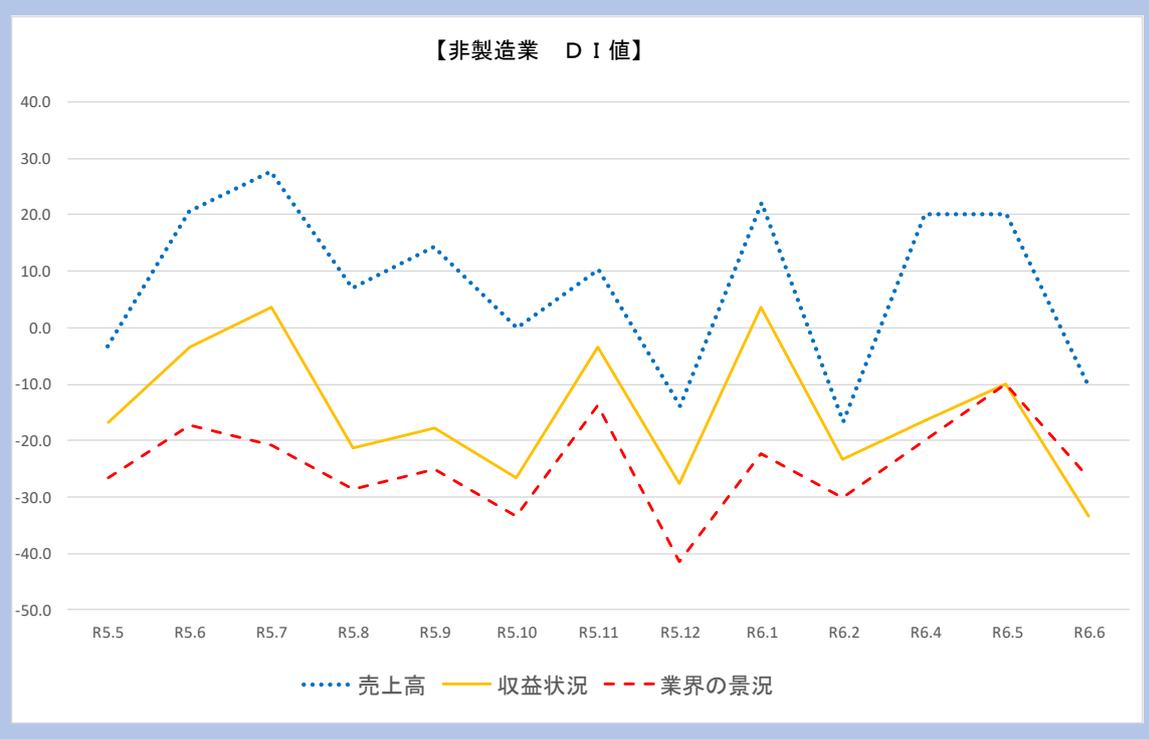
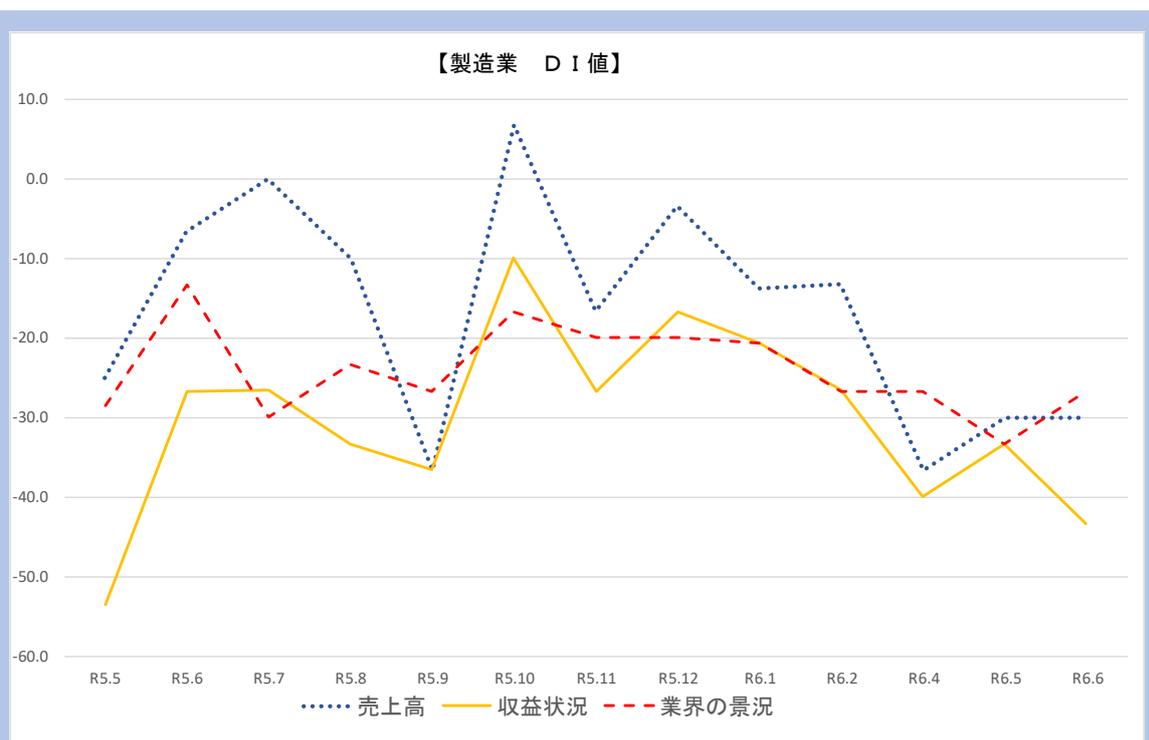
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2023年6月期～2024年6月期までの推移

全体	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6
売上高	6.8	13.6	-1.7	-12.1	3.3	-3.4	-8.5	3.5	-15.0	-8.4	1.7	-5.0	-20.0
収益状況	-15.2	-11.9	-27.6	-27.6	-18.3	-15.3	-22.1	-9.0	-25.0	-28.3	-18.3	-21.6	-38.3
業界の景況	-15.2	-25.4	-25.9	-25.8	-25.0	-16.9	-30.5	-21.4	-28.3	-23.3	-28.4	-21.7	-26.6

製造業	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6
売上高	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0
収益状況	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3
業界の景況	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7

非製造業	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6
売上高	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0
収益状況	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4
業界の景況	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7



■ 2023年6月期～2024年6月期までの推移

売上高	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6
製造業	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0
非製造業	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0

収益状況	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6
製造業	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3
非製造業	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4

業界の景況	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6
製造業	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7
非製造業	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7

